

文 献

- 青木かおり・入野智久・大場忠道 (2008) 鹿島沖海底コア MD01-2421 の後期更新世テフラ層序. 第四紀研究, **47**, 391-407.
- 新井房夫 (1972) 斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定. 第四紀研究, **11**, 254-269.
- 新井房夫・町田 洋・杉原重夫 (1977) 南関東における後期更新世の示標テフラ層. 第四紀研究, **16**, 19-40.
- 千葉県環境研究センター (2025) ちば情報マップ; 地質柱状図 (千葉県インフォメーションバンク) <https://www.pref.chiba.lg.jp/suiho/opendata/opendata-boringcore-blank.html> (閲覧日: 2025年12月23日)
- 遠藤邦彦・小杉正人・菱田 量 (1988) 関東平野の沖積層とその基底地形. 日本大学文学部自然科学研究所研究紀要, no. 23, 37-48.
- 五十嵐八枝子 (2009) 北西太平洋・鹿島沖コア MD01-2421 の MIS 6 以降の花粉記録: 陸域資料との対比. 地質学雑誌, **115**, 357-366.
- Igarashi, Y. and Oba, T. (2006) Fluctuations in the East Asian monsoon over the last 144 ka in the northwest Pacific based on a high-resolution pollen analysis of IMAGES core MD01-2421. *Quaternary Science Reviews*, **25**, 1447-1459.
- 一般財団法人国土情報センター (2025) 国土情報データベース 一般公開. <https://publicweb.ngic.or.jp/public/publicweb.php> (閲覧日: 2025年12月23日)
- 伊勢屋ふじこ (1982) 茨城県, 桜川における逆グレーディングをした洪水堆積物の成因. *Geographical Review of Japan*, **55**, 597-613.
- 石橋幸子・松本栄次 (1992) 茨城県南西部の利根川低地における近世以降の環境変遷. 筑波大学水理実験センター報告, no. 16, 93-105.
- 伊藤 慎・増田富士雄 (1988) 火山砕屑物を多量に含んだ土砂の流出事件. 月刊地球, **10**, 446-451.
- 岩村里美・升本真二・塩野清治 (2012) 野外調査データにもとづいて地質構造の論理モデルを決定するアルゴリズム — 地層の接触面の性質 —. 情報地質, **23**, 3-16.
- Kameo, K., Okada, M., El-Masry, M., Hisamitsu, T., Saito, S., Nakazato, H., Ohkouchi, N., Ikehara, M., Yasuda, H., Kitazato, H. and Taira, A. (2006) Age model, physical properties and paleoceanographic implications of the middle Pleistocene core sediments in the Choshi area, central Japan. *Island Arc*, **15**, 366-377.
- 関東ローム研究グループ (1956) 関東ロームの諸問題. 地質学雑誌, **62**, 302-316.
- 笠間友博 (2008) 大磯丘陵、多摩丘陵に分布する箱根火山起源のテフラ. 神奈川県立博物館調査研究報告 (自然科学), **13**, 111-134.
- 笠間友博・山下浩之 (2008) いわゆる「東京軽石層」について. 神奈川県立博物館調査研究報告 (自然科学), **13**, 91-110.
- 硬砂団体研究グループ (1984) 大宮台地に分布する硬砂層の性質と堆積環境. 地球科学, **38**, 17-30.
- 加藤定男・新堀友行 (1973) いわゆる武蔵野段丘について. 地球科学, **27**, 24-34.
- 河井興三 (1961) 南関東ガス田地帯についての鉱床地質学的研究. 石油技術協会誌, **26**, 212-266.
- 吉川清志・水野清秀・杉山雄一 (1991) 関東～九州における前～中期更新世テフラの広域対比. 月刊地球, **13**, 228-234.
- 菊地隆男 (1972) 成田層産白斑状化石生痕とその古地理学的意義. 地質学雑誌, **78**, 137-144.
- 小玉喜三郎・堀口万吉・鈴木尉元・三梨 昂 (1981) 更新世後期における関東平野の地塊状造盆地運動. 地質学論集, no. 20, 113-128.
- 国土交通省 (2025a) 「基盤地図情報 5 m メッシュ (標高)」. 国土交通省国土地理院基盤地図情報サイト (<https://www.gsi.go.jp/kiban/>). (2025年6月30日取得)
- 国土交通省 (2025b) 「国土数値情報 (行政区域データ)」. 国土交通省国土数値情報ダウンロードサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2025.html>). (2025年11月1日取得)
- 町田 洋 (1971) 南関東のテフロクロノロジー (I) — 下末吉期以降のテフラの起源および層序と年代について —. 第四紀研究, **10**, 1-20.
- 町田 洋・新井房夫 (2003) 新編 火山灰アトラス — 日本列島とその周辺. 東京大学出版会, 336p.
- 町田 洋・新井房夫, 村田明美・袴田和夫 (1974) 南関東における第四紀中期のテフラの対比とそれに基づく編年. 地学雑誌, **83**, 302-338.
- 牧野泰彦・北山依志・椎名しずえ (1982) 茨城県大宮町若林にみられる更新統の河川堆積物. 茨城大学教育学部紀要 (自然科学), no. 31, 65-71.
- 横山次郎 (1931) 関東南部の洪積層. 小川博士還暦記念論文集, 307-382.
- 真野勝友 (1989) 木下層および成田層に見られる貝類の化石化の例について. 化石研究会会誌, **22**, 1-5.
- Masumoto, S., Raghavan, V., Yonezawa, G., Nemoto, T. and Shiono, K. (2004) Construction and visualization of a three dimensional geologic model using GRASS GIS. *Transactions in GIS*, **8**, 211-223.

- 三土知芳 (1937) 7万5千分の1地質図幅「茂原」. 地質調査所.
- 水野清秀・須貝俊彦・八戸昭一・中里裕臣・杉山雄一・石山達也・中澤 努・松島紘子・細矢卓志 (2004) ボーリング調査から推定される深谷断層南東部の地質構造と活動性. 活断層・古地震研究報告, **4**, 69–83.
- 中村一夫・福田 理 (1953) 常総台地の地形及び地質 (演旨). 地質学雑誌, **59**, 319.
- 中里裕臣 (1997) 下総層群の年代. 坂上澄夫教授退官記念論文集, 127–141.
- 中里裕臣・佐藤弘幸 (1988) 下総層群上泉層中のKm2テフラ. 地質学雑誌, **94**, 793–796.
- 中里裕臣・佐藤弘幸 (2001) 下総層群の年代と“鹿島”隆起帯の運動. 第四紀研究, **40**, 251–257.
- 中澤 努・遠藤秀典 (2000) 関東平野中央部大宮・野田地域地下浅部の更新統堆積シーケンスと構造運動. 堆積学研究, no. 51, 23–38.
- 中澤 努・中里裕臣・小松原 琢・塚本 齊 (2003) 関東地方に分布する中期更新世指標テフラTB-8とKy3の対比の再検討. 地質調査研究報告, **54**, 341–350.
- 中澤 努・中里裕臣・大嶋秀明・堀内誠示 (2009) 関東平野中央部における上総–下総層群境界: 越谷GS-KS-1コアでのMIS12層準の特定. 地質学雑誌, **115**, 49–63.
- 中澤 努・田辺 晋 (2011) 野田地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅), 産総研地質調査総合センター, 72p.
- Nakazawa, T., Sakata, K., Hongo, M. and Nakazato, H. (2017) Transition from incised valley to barrier island systems during MIS 5e in the northern Chiba area, Kanto Plain, central Japan. *Quaternary International*, **456**, 85–101.
- 奈良正和 (1994) “ヒメスナホリムシの生痕化石”の形成者は何か?: 生痕化石 *Macaronichnus segregatis* の形成メカニズム. 化石, no. 56, 9–20.
- 納谷友規・小松原純子・野々垣 進・尾崎正紀・宮地良典・中澤 努・中里裕臣・鈴木毅彦・中山俊雄 (2021) 都市域の地質地盤図「東京都区部」(説明書). 産総研地質調査総合センター, 82p.
- 納谷友規・野々垣 進・小松原純子・宮地良典・中澤 努・風岡 修・潮崎翔一・香川 淳・吉田剛・加藤晶子・八武崎寿史・荻津 達・中里裕臣 (2018) 都市域の地質地盤図「千葉県北部地域」(説明書). 産総研地質調査総合センター, 55p.
- 野々垣 進・升本眞二・塩野清治 (2008) 3次B-スプラインを用いた地層境界面の推定. 情報地質, **19**, 61–77.
- 岡崎浩子・増田富士雄 (1992) 古東京湾地域の堆積システム. 地質学雑誌, **98**, 235–258.
- 埼玉県 (1999) 関東平野北西縁断層帯(深谷断層)に関する調査成果報告書—平成10年度地震関係基礎調査交付金—. 109p.
- 斉藤尚人 (2000) ハヶ岳東麓と関東平野の中期更新世テフラの対比とその編年. 第四紀研究, **39**, 15–23.
- 坂倉勝彦 (1935) 千葉県小櫃川流域の層序 (其の2). 地質学雑誌, **42**, 753–784.
- 坂田健太郎・中澤 努・中里裕臣 (2011) 八潮GS-YS-2コアに見られる更新統下総層群の堆積サイクルとテフロクロロジー. 地質調査研究報告, **62**, 329–345.
- 坂田健太郎・納谷友規・本郷美佐緒・中里裕臣・中澤 努 (2018) 茨城県筑波台地に分布する中–上部更新統下総層群の層序の再検討. 地質学雑誌, **124**, 331–346.
- Seike, K. (2009) Influence of beach morphodynamics on the distributions of the opheliid polychaete *Euzonus* sp. and its feeding burrows on a sandy beach: paleoecological and paleoenvironmental implications for the trace fossil *Macaronichnus segregatis*. *Palaios*, **24**, 799–808.
- 塩野清治・升本眞二・坂本正徳 (1998) 地層の3次元分布の特性と地質図作成アルゴリズム—地質構造の論理モデル—. 情報地質, **9**, 121–134.
- Smith, V. C., Staff, R. A., Blockley, S. P. E., Bronk Ramsey, C., Nakagawa, T., Mark, D. F., Takemura, K., Danhara, T. and Suigetsu 2006 Project Members (2013) Identification and correlation of visible tephra in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: Chronostratigraphic markers for synchronizing of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. *Quaternary Science Reviews*, **67**, 121–137.
- 杉原重夫 (1970) 下総台地西部における地形の発達. 地理学評論, **43**, 703–718.
- 杉原重夫・吉村光敏・細野 衛・森脇 広 (1978) 房総半島南部の後期更新世テフラ層と海岸段丘について. 第四紀研究, **16**, 255–262.
- 鈴木毅彦・早川由紀夫 (1990) 中期更新世に噴出した大町APmテフラ群の層位と年代. 第四紀研究, **29**, 105–120.
- 田辺 晋 (2021) 関東平野中央部における沖積層の基盤地形. 地質学雑誌, **127**, 635–648.
- 田辺 晋・堀 和明・百原 新・中島 礼 (2016) 利根川低地における「弥生の小海退」の検証. 地質学雑誌, **122**, 135–153.
- Tanabe, S., Nakashima, R., and Mizuno, K. (2022). Holocene filling of a narrow estuary in a regressive coast: the Paleo-Kinu Bay region, central Japan. *Marine Geology*, **447**, 106795.
- 徳橋秀一・遠藤秀典 (1984) 姉崎地域の地質. 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 地質調査所, 136p.
- 戸谷 洋・貝塚爽平 (1956) 関東ローム層中の化石土壌. 地理学評論, **29**, 339–347.
- 植田房雄 (1930) 房総半島北部の地質 (摘要). 地質学雑誌, **37**, 250–253.
- 米岡佳弥・野々垣 進・小松原純子・尾崎正紀・中里裕臣・中澤 努・八戸昭一 (2025) 都市域の地質地盤図「埼

- 玉県南東部」(説明書). 産総研地質調査総合センター, 74p.
- 米岡佳弥・坂田健太郎・本郷美佐緒・中里裕臣・中澤 努 (2024) 下総台地北西部の地下に分布する中部更新統下総層群清川層の層相・物性の側方変化. 地質学雑誌, **130**, 223–238.
- 米澤 剛・升本真二・根本達也・坂本正徳・塩野清治 (2004) 拡張地質関数を用いた地質境界線の表示. 情報地質, **15**, 193–206.
- 吉川周作・井内美郎 (1991) 琵琶湖高島沖ボーリングコアの火山灰層序. 地球科学, **45**, 81–100.
- 吉川周作・水野清秀・加藤茂弘・里口保文・宮川ちひろ・衣笠善博・三田村宗樹・中川康一 (2000) 神戸市東灘 1,700 m ボーリングコアの火山灰層序. 第四紀研究, **39**, 505–520.